

平成20年7月23日

国土交通大臣 冬柴 鐵三 殿 他

川崎商工会議所
会 頭 西岡 浩史

川崎市の幹線道路の整備を促進する会
会 長 西岡 浩史

川崎縦貫道路等の早期整備について（要望）

平素は、「川崎商工会議所」「川崎市の幹線道路の整備を促進する会」の活動につきまして、格別のご理解を賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、道路は都市を形成する公共財として最も重要な役割を担っているところですが、川崎市は歴史的に細長い市域を縦貫方向に貫く幹線道路が未だに脆弱で、首都圏の中核都市としてその整備が喫緊の課題であります。平成16年度以来、当所が実施している利用意向調査及び意識調査では、東名高速まで供用されれば80%以上の企業が利用すると回答しており、臨海部と東名間の移動時間の短縮などの交通改善に、大きな効果を期待しております。

国土交通省におかれましては、昨年12月25日国土開発幹線自動車道建設会議において、東京外郭環状道路の基本計画が了承されたところですが、首都圏の3環状幹線道路ネットワークは、産業、生活、環境など多方面に大きな効果を及ぼすところから、早急な整備が強く望まれております。

つきましては、首都圏の広域交通ネットワークに貢献し、縦貫方向の幹線道路が未整備な川崎市の発展に不可欠な次の3点について、格別のご高配を賜わりたくお願い申し上げます。

1. 道路整備中期計画の中で、効果的な道路財源の活用による、真に必要な川崎縦貫道路の早期整備の実現。
2. 東京外かく環状道路の東名以南ルート「川崎縦貫道路Ⅱ期区間」を東京外かく環状道路の「川崎区間」とする一本化整備による早期実現。
3. 川崎都心部の慢性的な渋滞を改善するために、一般国道409号(国道15号～国道1号)の地下化バイパス先行整備。

以 上